

肪を取り除き、脂質代謝の異常とされるメタボリックシンドロームをも予防しうると言える。

同社代表の寺尾氏は、「α-C/Dは、アメリカでも、FBCxというダイエット素材で製品化されており、海外では認知度を高めています。」「肥満大国アメリカで既に安定した市場を形成しているところからも、近い将来日本でもブームになることが予想される。」

出

α-C/Dは一方で、食物繊維として整腸作用やアレルギーに対する有効性も注目されている。特にアトピー性皮膚炎に対する効果は顕著で、(株)シクロケムの行ったアレルギー性皮膚炎患者二名対象の二カ月間の試験でも、アトピー性皮膚炎の症状を示す七名の患者中、二名が完治し、四名に改善という確かな結果を示すなど、抗アレルギー素材としての期待度も高い。

〇〇一年にLBM(除脂肪体重)を増加させる機能が評価され、ニュートラコン会議で最優秀新製品に選ばれた実績がある。

五種のミネラル配合原料を開発

富田製薬(東京都千代田区)は、食品、栄養機能食品などへの使用を目的に、カルシウム、マグネシウム、グルコン酸亜鉛、鉄、銅の五つのミネラルをバランスよく配合した原料「ブレミックス」を開発。今後、メーカーからの引き合いが次第、発売する方針だ。同原料は、使用するミ

究極のサプリメント「花粉エキス」 vol.10



シニア・R・メイ CEO

このシリーズで神田医新クリニックでの肝機能障害とED(勃起障害)に関するデータを紹介させていただきましたが、それだけでは相互の障害がお互いに関連していることはわかりませぬ。

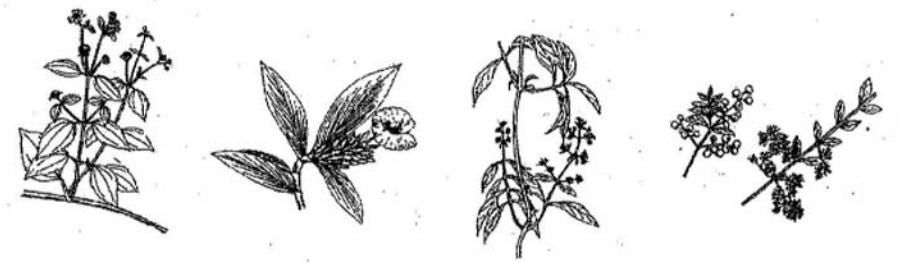
成人の肝臓は質量がおよそ1.0〜1.5キログラムもあり、消化系では最大の臓器で代謝、排泄、解毒などの重要な役割を担っています。この肝臓に障害があると性ホルモンの代謝に問題が発生します。

実はEDに深く関係のある男性ホルモンについてですが、これは肝臓で代謝されるものもあれば、女性ホルモンへ変換され代謝されるものもあるのです。肝機能障害があると女性ホルモンの代謝が遅延になり、このことがED誘発の原因となることが多いようです。当クリニックでの考察では花粉エキスの抗酸化物質、アミノ酸、ミネラル等が血流を改善し自律神経を調整し、疲労回復させ、障害の起きた肝細胞を修復し、肝臓における女性ホルモンの分解をうながし勃起力を増したものと思われるかとされています。肝機能障害では同様のメカニズムにより服用後にメーカーであるガンマーGTPが経時的に優位に改善されました。ですから、肝機能に問題のある男性はEDを併発しやすく、肝機能障害が改善されるとEDも改善される可能性が高いということになります。

また花粉エキスはサプリメント市場で騒がれている強いデトックス作用、つまり肝臓の解毒作用を促すことが知られており、そのような目的でサプリメントの原料として利用されています。

植物を探る

才先住民の草木利用



本書は、プラントハンターの深井勉氏がボルネオ先住民の村医者たちと交友関係になり、彼らが秘密主義で堅く守っている伝承生薬および天然添加物(調味料、香辛料、酸化防止剤など)となる植物112種以上について、10年余の歳月にわたって少しずつ口授された内容をまとめたものである。

様々な有用植物がイラスト入りで解説され、マレーシアの農業研究所の研究プログラムも紹介。健康食品、医薬品などの商品開発に植物名の索引付き

業センター/B6判・184頁/定価2,500円・送料500円(税込)